

## 2021年度 ブラックスタート機能（2026年度向け）公募 ご意見に対する回答

番号	該当箇所	意見	回答
1	要綱（案） 4. 募集容量 (1) 全系統ブラックスタート b. 募集規模	<p>全系統ブラックスタートの募集規模には「非常用発電機等により起動可能な発電機は、単機10万kW以上」とあり、対象系統毎の募集の説明においては、「ブラックスタート電源から起動用の電力を供給することでまとまった電源として電圧・周波数調整を容易とし、、「c.対象系統」内の発電機への供給が必要」とあります。</p> <p>先般行われた第67回制度設計専門会合における北海道電力殿の説明の記載においては、「10万kW以上の設定は大規模発電所の所内電力供給」とあり、また、募集対象系統の説明の記載では「水力電源が比較的多く連系」とあり、募集規模の「大規模発電所への供給」と募集対象系統「水力電源等のまとまった電源の連系」との関係性について募集要綱上に記載が必要かと考えます。</p> <p>水力電源への所内供給であれば、大規模発電所を想定した単機10万kW以上までのBS機の発電機出力は過剰になるのではないかと考えられ、出力規模が小さい電源の入札も可能とすることで、多様な事業者の参入機会の拡大にも繋がり、落札価格の低下も期待できると考えます。</p> <p>募集規模、募集系統における考え方（現行の復旧手順等）について追加の説明をお願いします。</p>	<p>単機10万kW以上に限定しているのは、全系統ブラックスタートのうち基幹系統の募集です。一方、全系統ブラックスタートのうち地域供給系統における募集においては発電所の規模を限定しておりません。</p> <p>第67回制度設計専門会合における「10万kW以上の設定は大規模発電所の所内電力供給」は基幹系統のブラックスタート機能の要件についての記載であり、「ブラックスタート機能を有していない同期発電機が比較的多く連系されている「c. 対象系統」内の発電機への供給」を目的とする地域供給系統の記載との関連性はございません。</p>
2	要綱（案） 6. 入札の条件 (2) 契約電源等の運用 a. 全系統ブラックスタート (c) 復旧操作訓練	<p>復旧作業訓練について「訓練・試験・教育に係わる諸費用はすべて契約者負担となります」とありますが、入札価格にこれらの費用を逸失利益として織り込む必要があるものと考えますが、具体的な復旧訓練の手順・試験の内容（電力の供給時間等）が分からない場合、逸失利益が算定できず適切な入札価格で入札出来ないため、復旧作業訓練・試験の内容・手順等について、募集要綱に記載をお願いします。</p>	<p>訓練は、1回／年程度、札幌市内で、北海道電力NWが設定する情報連携訓練に参加していただくことを想定しております。</p> <p>試験は本契約の機能を維持できることを求め、教育は本契約を満足できる運転ができることを求めます。</p> <p>訓練につきましては当社が内容を指定するものであるため、訓練内容の概要を契約書（ひな型）に記載をいたします。</p>
3	要綱（案） 11. 応札方法 (2) 入札書への添付資料	<p>2つ目の※「イおよびウ」とは何を指しているのか。</p>	<p>誤記です。以下のように修正します。</p> <p>「bおよびc」</p>
4	契約書（ひな型）（案） 第12条	<p>「容量市場から支払われる対価相当金額」の内容が募集要綱と異なっているが、募集要綱の記載が正しいのではないのか。</p>	<p>契約書（ひな型）が誤記です。以下のように修正します。</p> <p>容量市場から支払われる対価相当額                      = 期待容量 × 約定価格 - 経過措置控除額</p>